



## ルフトハンザ・カーゴが新機材 B777F を導入 ～2020年10月28日より運航開始～

関西エアポート株式会社は、ルフトハンザ・カーゴ（LH）が2020年10月28日より新機材 B777F を導入することをお知らせいたします。

また、11月12日から12月10日の期間は週1便増便し、週3便で運航されます。

ルフトハンザ・カーゴは、ドイツ・フランクフルトを拠点とする貨物航空会社で、関西空港では現在週2便運航されています。今回の機材切り替えにより、1便当たりの貨物積載量が約20t増加することとなり、欧州方面への輸送能力の向上につながります。

関西エアポート株式会社は、引き続き、航空貨物ネットワークの拡充を通じて、荷主の皆様や貨物関係事業者の利便性向上に努め、関西や就航地点を中心とした経済発展に寄与してまいります。

### ○ 運航開始日

2020年10月28日（水）

### ○ 運航スケジュール

路線	便名	スケジュール（現地時間）	運航曜日
フランクフルトー 関西ーソウルー フランクフルト	LH8390/ LH8391	フランクフルト発 → 関西着/発 → 仁川発 → フランクフルト着 (3:25/5:25) <u>(3:45/5:45)</u> 木曜日運航	水・木・土

（下線便は2020年11月12日～12月10日まで運航）

### ○ 機材仕様

	新機材
型式	B777F
貨物積載量	約103,000 kg



画像提供：ルフトハンザ・カーゴ

### ○ 詳細

別紙ルフトハンザ・カーゴのプレスリリースをご覧ください。

### 【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

関西エアポート株式会社  
グループコーポレートコミュニケーション部 パブリックリレーション  
Tel : 072-455-2201



関西エアポート株式会社は、オリックス株式会社と VINCI Airports (ヴァンシ・エアポート) を中核とするコンソーシアムにより設立されました。関西国際空港 (KIX) および大阪国際空港 (ITAMI) の運営を新関西国際空港株式会社から引継ぎ、2016年4月1日より両空港の運営会社として事業を開始しています。

また、2018年4月1日からは関西エアポート株式会社の100%出資会社である関西エアポート神戸株式会社、神戸空港 (KOBE) の運営を神戸市から引継ぎ、事業を開始しました。

“One 関西エアポートグループ”として、空港の安全とセキュリティを最優先に、適切な投資と効率的な運営によって国内外からの空港利用者へのサービスを強化してまいります。また、関西3空港の可能性を最大限に引き出し、地域コミュニティへの貢献につなげてまいります。

詳しくは、関西エアポートグループホームページ: [www.kansai-airports.co.jp/](http://www.kansai-airports.co.jp/) をご参照ください。

#### 関西エアポート株式会社 (関西国際空港および大阪国際空港の運営)

本社	大阪府泉佐野市泉州空港北1番地 大阪市西区西本町一丁目4番1号 (登記上)	株主	オリックス 40%、 ヴァンシ・エアポート 40%、 その他の出資者 20% <sup>1</sup>
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO ブノア・リュロ		
事業内容	関西国際空港および大阪国際空港の運営業務、管理受託業務等		

#### 関西エアポート神戸株式会社 (神戸空港の運営)

本社	兵庫県神戸市中央区神戸空港1番	株主	関西エアポート株式会社 100%
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO ブノア・リュロ		
事業内容	神戸空港の運営、維持管理業務等		



#### オリックス株式会社について

オリックスは常に新しいビジネスを追求し、先進的な商品・サービスを提供する金融サービスグループです。

1964年にリース事業からスタートして隣接分野に進出し、現在では融資、投資、生命保険、銀行、資産運用、自動車関連、不動産、環境エネルギー関連などへ事業を広げています。また、1971年の香港進出を皮切りに世界37カ国・地域に拠点を設け、グローバルに展開しています。



世界有数の空港運営事業者であるヴァンシ・エアポートは、45空港の開発・運営を行っています。同社の空港ネットワークを構成するブラジル、カンボジア、チリ、コスタリカ、ドミニカ共和国、フランス、日本、ポルトガル、セルビア、スウェーデン、イギリス、そしてアメリカ合衆国の空港には、合計で250社以上の航空会社が就航し、2019年の旅客者数は2億5,500万人にのぼります。

ヴァンシ・エアポートは総合インテグレーターとしての専門知識を駆使し、空港の開発・資金調達・建設・運営に当たっています。またその投資力、国際ネットワーク、ノウハウを生かして、空港の運営と機能を最適化し、施設拡充や新規建設事業を行っています。

2019年の連結売上高は26億ユーロ、グループ全体の売上高は49億ユーロ (関連会社含む) に達しました。

詳細は [www.vinci-airports.com](http://www.vinci-airports.com) をご覧ください。

<sup>1</sup> 株式会社アシックス、岩谷産業株式会社、大阪瓦斯株式会社、株式会社大林組、オムロン株式会社、関西電力株式会社、近鉄グループホールディングス株式会社、京阪ホールディングス株式会社、サントリーホールディングス株式会社、株式会社JTB、積水ハウス株式会社、ダイキン工業株式会社、大和ハウス工業株式会社、株式会社竹中工務店、南海電気鉄道株式会社、西日本電信電話株式会社、パナソニック株式会社、阪急阪神ホールディングス株式会社、レンゴー株式会社、株式会社池田泉州銀行、株式会社紀陽銀行、株式会社京都銀行、株式会社滋賀銀行、株式会社南都銀行、日本生命保険相互会社、株式会社みずほ銀行、三井住友信託銀行株式会社、株式会社三菱UFJ銀行、株式会社りそな銀行、株式会社民間資金等活用事業推進機構



## LH8391 関西-フランクフルト 機材の大型化と期間増便について

2020年10月7日

拝啓 時下ますますご隆昌のこととお慶び申し上げます。  
平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ルフトハンザ カーゴは冬期スケジュールより、関西-フランクフルトの貨物便サービスを拡充します！

### 主な変更点

- 関西発着の運航曜日を水曜、土曜に変更
- 2020年11月12日～2020年12月10日の間、毎週木曜(関西発着)に臨時便を運航
- 使用機材をB777Fへ大型化
- ノボシビルスクでの技術着陸が廃止となることで、フランクフルトまでの所要時間が大幅に短縮

以上は冬期スケジュールの初便である、10月28日の関西発着(LH8390/91)より変更となります。これら貨物便のアップグレードに加え、12月2日から旅客便(LH742/743)が復便する予定です。関西発の貨物輸送は充実したキャパシティを誇るルフトハンザカーゴまでお気軽にお問い合わせ下さい。

スケジュールの詳細は下記をご参照下さい。

敬具

Lufthansa Cargo AG  
日本支社長  
ハツノ シュミット

記

### 運航スケジュールの詳細(関西発着):

Flight No.	Origin	Destination	A/C	Day	STD	STA
LH8390	FRA	KIX	B77F	2,5	7:55	3:25+1
LH8391	KIX	FRA	B77F	3 6	5:25	13:20 12:50
LH8390	FRA	KIX	B77F	3	8:15	3:45+1
LH8391	KIX	FRA	B77F	4	5:45	13:40

※LH8390/91 D4は臨時便として設定しており、12月10日までの運航です。  
※スケジュールは予告無く変更となる場合があります。  
※当局の認可を前提。

以上

本件に関するご質問は、弊社担当者まで直接お問い合わせ下さい。



**Lufthansa Cargo**  
Networking the world.